

平成 2 8 年度 富士見小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

心豊かで健やかな体を持ち，創造性豊かに自ら学び自ら考え，主体的に判断し行動し，よりよい社会の発展を目指して，たくましく生きる児童の育成を目指す。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- 心豊かで，思いやりのある子ども（心豊かな子）
- よく学び，工夫する子ども（よく学ぶ子）
- 健康で，たくましい子ども（たくましい子）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

子ども一人一人のよさや強みを探し，見つけ，つくり，それをほめて伸ばす指導の充実により，児童の多様な個性・能力を伸ばし，互いの良さを生かしながら，支え合い高め合える集団を形成して，すべての児童が自信と誇りの持てる学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的に学習に取り組む態度の育成
- (2) 他者への思いやり，規範意識，自己有用感の育成
- (3) 体力の向上と健康の保持増進
- (4) 教職員の資質能力の向上
- (5) 開かれた学校づくりの推進

宮の原地域学校園教育ビジョン

「心豊かで輝く子どもの育成」

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

児童一人一人のよさや強みをほめて伸ばす指導の充実

【学 習 指 導】

- 主体的に学習に取り組み，生き生きと学び合う児童の育成

【児 童 生 徒 指 導】

- 基本的な生活習慣の確立と自己有用感の育成

【健康（保険安全・食育）・体力】

- 健康・体力の向上と運動に親しむ態度の育成

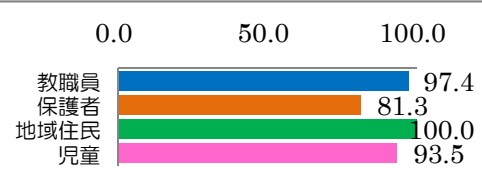
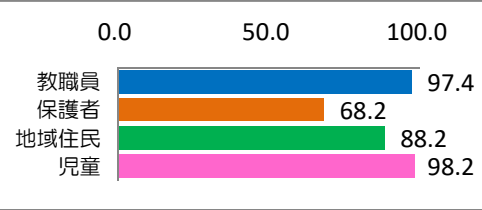
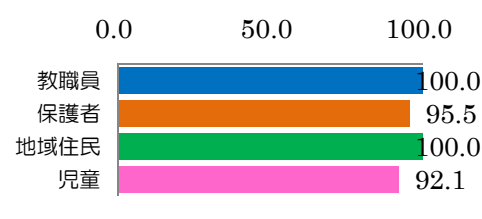
5 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項 目	評価項目	主な具体的な取組	方 向 性	評 価
--------	------	----------	-------------	-----

学 校 運 営 の 状 況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケート「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」⇒肯定的回答 90%以上（保護者）達成	①学校行事等において、児童が主体的に活動する場を多く設定し、活気あふれる学校づくりをする。 ②授業では、学習意欲を高める多様な体験的学習の工夫をする。 ③縦割り班活動や学年合同活動等、及び日常的な交流活動を実施し、児童が意欲をもって活動できる場を設定する。	【達成状況】 ・学校行事や学年行事等において、児童主体の活動を多く取り入れた。縦割り班活動や学年合同活動等でも意欲的に取り組んでいた。 【次年度の方針】 ・継続 今後とも児童が居場所を確保できる学級経営に努める。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】全体アンケート「教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている」⇒肯定的回答 90%以上（保護者）達成	①ほめて伸ばす指導を軸に、児童のよさや指導経過等を、学年または学校全体で共有し、継続的に指導にあたる。 ②教育相談や個人懇談等を計画的に実施し、個に応じた支援に努める。 ③他学級との授業交換や学年合同活動を行い、広く児童理解・学業指導に努め、児童が教師及び児童相互の信頼関係を深めながら、学校生活が送れるようにする。	【達成状況】 ・学年で指導方針を共有し、継続的に指導を行った。 【次年度の方針】 継続 ほめて伸ばす指導を軸に、児童のよさや指導経過等を、学年や学校全体で共有し、継続して指導に当たる。
	A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている」⇒肯定的回答 85%以上（教職員）達成	①授業と生活の「みんなのやくそく」による日常指導の充実を図り、素早く個に応じた対応に努める。 ②教師による生活当番活動を実施すると共に、保護者との連携・協力を図り、支援体制を充実させ、個に応じたきめ細やかな対応を心掛ける。 ③<u>道徳教育の充実を図り、全校での道徳の公開授業を実施する。</u>	【達成状況】 ・下校時等に学年全体で日常指導を行い、共通理解のもとで指導の徹底を図った。 【次年度の方針】 継続 規範意識を高め、秩序があり安定した学校生活が送れるよう指導する。

A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケート「教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている」⇒肯定的回答 85%以上（保護者）未達成	①教材開発・課題提示の工夫など、一人一人の実態に応じた指導により分かる授業を行う。 ②個・学級・学年の実態を把握するとともに、4年生以上の国語・算数でTTや少人数指導など、学習形態の工夫を図り、個に応じたきめ細かな指導を行う。 ③教員の指導力の向上を目指し、学年ごとに研究授業と授業後の研究会を実施する。 ④国語科を中心とした研修や授業実践を通し「読むこと」や言語活動についての研究を進め、主体的に学習する児童の育成と学力向上を図る。	【達成状況】  ・校内研究・授業研究会が充実していた。 【次年度の方針】 ・実態把握を行い、学習形態を工夫するなどして、きめ細かい指導を行う。 ・朝の学習で漢字や計算力の向上のための学習を実施する。 ・聞き方や話し方の指導を行う。 ・教育連絡日の授業内容を検討する。
A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケート「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」⇒肯定的回答 90%以上（児童）達成	①教職員の協力のもと、いじめのない学級経営に努め、楽しい学校生活を送るためのアンケートやいじめアンケート・教育相談の実施により、職員間で共通理解を図り、いじめのない学級づくり、早期発見・早期対応に努め、学校全体でいじめ対策に取り組む。 ②いじめ等対策委員会を設置し、組織的に対応し早期解決を図るとともに、定期的な児童指導報告等を通し学年・学級の実態を把握し、いじめの起こらない環境づくりに努める。 ③「いじめゼロ強調月間」における取組や「宮っ子心の教育」に係る児童会主体の活動のさらなる充実を図る。	【達成状況】  ・児童指導だよりやいじめに関する資料の配布を行った。 ・携帯電話やメール等、情報モラル教育にかかわる指導の強化を行い、保護者にも公開した。 【次年度の方針】 継続 職員間で共通理解を図り、学校全体でいじめ対策に取り組む。
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】全体アンケート「日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている」⇒肯定的回答 90%以上（保護者）達成	①学習状況調査やアンケート等の児童の実態から、各教科・各種年間計画を見直し、自校化を図る。 ②学校評価・学校行事アンケート等により、児童や保護者の願いを生かした、よりよい学校行事・学年行事・学習活動を実施する。	【達成状況】  ・良好な実施状況であった。 【次年度の方針】 継続 次年度も今年度と同じ日課で愛校の日、奉仕作業、クリーン作戦等を実施する。

A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】全体アンケート「学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが推進されている」⇒肯定的回答 90%以上（保護者）達成	①オープンスクール・土曜授業・ゆうゆうコンサートなど機会をとらえて、保護者や地域の方に学校を公開する。 ②各種便りを定期的に発行し、それをHPで公開する。 ③PTA 運営委員会や地域協議会において、学校の取組を説明したり、意見交換したりして、学校の現状や課題について共通理解を図り、改善策を考え実践していく。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3"> </td><td>97.4</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3"> </td><td>95.5</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3"> </td><td>92.0</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3"></td><td></td></tr></table> ・機会をとらえて学校を公開し、学校の取組についての説明をして、課題や改善策についての共通理解を図った。 ・HP をリニューアルして、より多くの情報を提供した。 【次年度の方針】 継続 学校・学年だより等や HP を通して開かれた学校づくりを進める。		0.0	50.0	100.0	教職員				97.4	保護者				95.5	地域住民				92.0	児童				
	0.0	50.0	100.0																							
教職員				97.4																						
保護者				95.5																						
地域住民				92.0																						
児童																										
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】全体アンケート「学校と家庭・地域・企業等との連携・協を図った地域の学校づくりが推進されている」⇒肯定的回答 90%以上（保護者）達成	①地域協議会等と連携を図り、新たな地域人材の募集などを行いながら、地域探検や食農体験等地域教材や地域の人材、ボランティア等を活用した授業を計画的・継続的に実施する。 ②地域の県立博物館・中央公園・市立図書館・文化会館・宇都宮城等の文化施設を積極的に授業に活用する。 ③企業等との連携を図った体験型学習を積極的に実施する。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3"> </td><td>100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3"> </td><td>91.5</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3"> </td><td>88.0</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3"> </td><td>92.8</td></tr></table> ・地域教材や地域の人材、ボランティアを活用した授業を多く行った。博物館や中央公園、市立図書館、气象台等、地域の文化施設を積極的に活用した。 【次年度の方針】 ・学習ボランティア活動を計画的、組織的に実施する。 ・地域人材や教育資源の有効活用を図る。		0.0	50.0	100.0	教職員				100.0	保護者				91.5	地域住民				88.0	児童				92.8
	0.0	50.0	100.0																							
教職員				100.0																						
保護者				91.5																						
地域住民				88.0																						
児童				92.8																						
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、学習にふさわしい環境となっている」⇒肯定的回答 85%以上（教職員）達成	① 縦割り班での清掃指導の充実を図ると共に、学年集会や学級活動において発達段階に合わせた清掃の仕方の指導を行う。 ②草花栽培等校内緑化や掲示コーナーの環境を計画的に整備する。 ③日常的に校内巡視を行うと共に定期的な安全点検を実施し、安全な学習環境づくりをする。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3"> </td><td>94.7</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3"> </td><td>92.9</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3"> </td><td>96.0</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3"> </td><td>87.4</td></tr></table> ・話し方や聞き方の掲示資料が有効であった。 【次年度の方針】 継続 校内緑化や掲示、安全点検等を実施し、校内環境整備に努める。		0.0	50.0	100.0	教職員				94.7	保護者				92.9	地域住民				96.0	児童				87.4
	0.0	50.0	100.0																							
教職員				94.7																						
保護者				92.9																						
地域住民				96.0																						
児童				87.4																						
B 1 学校・保護者・地域が一体となって、読書活動の充実に努めている。 【数値指標】全体アンケート「学校は読書の奨励や読書ボランティアによる読み聞かせをするなど、読書活動の充実に図っている」⇒肯定的回答 90%以上（保護者）達成	①2回、クラスごとに落ち着いた雰囲気朝の読書を行うとともに、図書室利用の時間の活用を工夫する。 ②図書委員や保護者・地域ボランティアによる読み聞かせを全学級、月1回実施する。 ③地域団体による素語りや読み聞かせを月1回学年ごとに実施する。 ④各学年オープンスペースに読書コーナーを設置し、休み時間等に身近に読書に親しめる場所を作る	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3"> </td><td>94.7</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3"> </td><td>97.3</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3"> </td><td>100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3"> </td><td>70.1</td></tr></table> ・国語科における並行読書の効果が抜群であった。 【次年度の方針】 継続 読書環境を整備し、読書活動の充実に努める。		0.0	50.0	100.0	教職員				94.7	保護者				97.3	地域住民				100.0	児童				70.1
	0.0	50.0	100.0																							
教職員				94.7																						
保護者				97.3																						
地域住民				100.0																						
児童				70.1																						

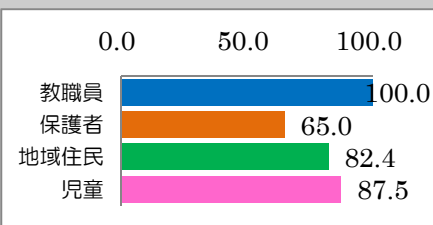
教育活動の状況	生活	A10 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は進んであいさつをしている」⇒肯定的回答 85%以上（教職員） 達成	①あいさつボランティアや委員会、学級等で自主的な活動の推進を図るとともに、あいさつ名人の紹介等で挨拶への関心を高める。 ②あいさつ運動の様子をたより等で周知し、家庭にも協力を呼びかける。 ③日常的に呼名に対する返事等の指導の徹底を図る。 ④宮の原地域学校園全体であいさつ運動を実施する。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3">94.7</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3">69.6</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3">85.2</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3">89.6</td></tr></table> ・あいさつ名人の紹介やあいさつボランティアの活動等により挨拶をする児童が増えた。 【次年度の方針】 継続 挨拶への意欲を高め、家庭や地域でも進んで挨拶を交わせるよう、指導に努める。		0.0	50.0	100.0	教職員	94.7			保護者	69.6			地域住民	85.2			児童	89.6		
			0.0	50.0	100.0																				
		教職員	94.7																						
		保護者	69.6																						
地域住民	85.2																								
児童	89.6																								
A11 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は正しい言葉づかいをしている」⇒肯定的回答 80%以上（教職員） 達成	①日常の言葉遣いや敬語の使い方等の指導を全職員共通理解のもとその場その場での継続的な指導を行う。 ②職員室の出入りの場や授業の発表等で正しい言葉づかいを指導する。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3">84.2</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3">70.3</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3">82.1</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3">81.0</td></tr></table> ・時と場に応じた指導を行っている。 【次年度の方針】 継続 道徳や日常の学校生活における、その場その場での指導を継続する。		0.0	50.0	100.0	教職員	84.2			保護者	70.3			地域住民	82.1			児童	81.0				
	0.0	50.0	100.0																						
教職員	84.2																								
保護者	70.3																								
地域住民	82.1																								
児童	81.0																								
B2 交通ルールを守って安全に登下校している。 【数値指標】全体アンケート「児童は、登校班ごとに登校し、安全に注意しながら、下校している」⇒肯定的回答 90%以上（地域） 達成	①登下校指導を地域・保護者・教職員が一体となって実施する。週1回集団下校を実施する。 ②交通安全教室を警察スクールサポーター、スクールガードチーフ等の協力を得て、計画的・継続的に実施したり、防犯教室を警備会社と連携したりして行い、自他の安全を守り、実践的な理解が深められるようにする。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3">94.7</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3">73.7</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3">100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3">92.0</td></tr></table> ・集団下校時に交通安全に関する全体指導を行った。 ・防犯パトロール隊やPTA等の協力により、安全に登下校ができた。 【次年度の方針】 継続 今年度の取組を推進する。		0.0	50.0	100.0	教職員	94.7			保護者	73.7			地域住民	100.0			児童	92.0				
	0.0	50.0	100.0																						
教職員	94.7																								
保護者	73.7																								
地域住民	100.0																								
児童	92.0																								
健康・体力	B3 いじめや不登校がない明るい学級で生き生きと過ごしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、友達と仲良く助け合いながら、楽しく学校生活を送っている」⇒肯定的回答 90%以上（児童） 達成	① <u>教職員の協力のもと、誰もが居場所を確保できる学級経営に努める。</u> ②縦割り班活動を充実させ、なかよし集会やチャレンジランキングなどの活動を通して異学年の交流を図る。 ③「まごころカード」の実践を通して、豊かな心を育てる小さな親切運動の推進を図る。 ④<u>楽しい学校生活を送るためのアンケートやいじめアンケート・教育相談の実施により、早期発見・早期対応に努める。</u> ⑤家庭と連携を図りながら携帯電話やメール等の指導等の情報モラル教育の強化に努める。	C	【【達成状況】】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3">97.4</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3">94.1</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3">100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3">92.4</td></tr></table> ・学年・学級で児童理解に努め、児童が生き生きと過ごせる環境の設定に努めた。 ・「まごころカード」の実践により、自他のよさに気付き、よさを伸ばそうとしていた。 【次年度の方針】 ①居場所の確保→A1に統合 ②異学年交流→A1に統合 ③小さな親切運動の推進→B6に統合 ④いじめの早期発見・早期対応→A5に統合 ⑤情報モラル教育の強化→A5に統合		0.0	50.0	100.0	教職員	97.4			保護者	94.1			地域住民	100.0			児童	92.4			
	0.0	50.0	100.0																						
教職員	97.4																								
保護者	94.1																								
地域住民	100.0																								
児童	92.4																								

A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。

【数値指標】全体アンケート「児童は、進んで運動する習慣を身に付けている」⇒肯定的回答率 **90%以上（児童）未達成**

- ①日課を工夫し、業間・昼休みの時間を確保し、外での自由遊びを奨励する。
- ②ゆうゆうタイム等を活用し、遊具や運動用具の使い方を紹介し、進んで運動に取り組めるようにする。
- ③学年毎にスポーツ大会を実施するなど、目標を持って運動に取り組ませ、体を動かすことへの意欲を高める。

【達成状況】



- B
- ・検定カードを活用し、目標を持って運動に取り組めた。
 - ・学年ごとにスポーツ大会を実施し、楽しみながら運動に親しんだ。

【次年度の方針】

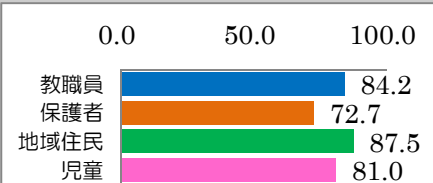
- ・検定カードの頑張りを賞賛する取組を実施する。
- ・ミニマムプランが達成できるような体力向上策の実施

A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。

【数値指標】全体アンケート「児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている」⇒肯定的回答率 **80%以上（児童）達成**

- ①給食週間の取組の中で好き嫌いや栄養のバランスについての指導を行ったり、保護者会等で家庭の協力を要請したりする。
- ②食育だよりや保健だよりの発行やお弁当の日の実施などにより、食に関する指導を充実させるとともに、保護者の食育に関する関心を高める。

【達成状況】



- B
- ・各種便りの発行やお弁当の日の実施により食への関心を高めた。

【次年度の方針】

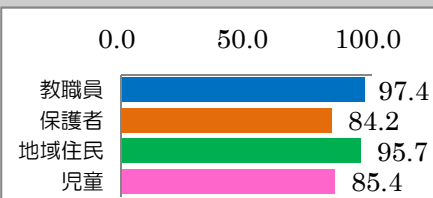
- ・毎日の給食指導を着実に実施する。
- ・食育の大切さに関する保護者への啓発を行う。

B4 運動技能や体力の向上を図り、健康な体づくりをしている。

【数値指標】全体アンケート「児童は、検定カードなどにより、めあてをもって運動に取り組んでいる」⇒肯定的回答 **90%以上（教職員）達成**

- ①検定カード（水泳・縄跳び・鉄棒）等を活用し、目標を持って積極的に運動を実施し、体力増強への意欲を高めるとともに、検定カードの頑張りを賞賛する取組の実施。検定上位者だけではなく、昨年度と比較して向上した児童にも、賞賛を行う。
- ②うつのみや元気っ子プランに基づき、全員がミニマムプランを達成できるよう体力の向上に努める。

【達成状況】



- C
- ・検定カードを修正し、新たな目標を持って運動に取り組んだ。

【次年度の方針】

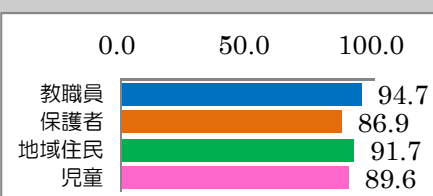
- ①検定カードの活用→A12 に統合
- ②ミニマムプランの達成→A12 に統合

A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。

【数値指標】全体アンケート「児童は、進んで学習に取り組んでいる」⇒肯定的回答 **90%以上（教職員）達成**

- ①一人一人が自由に発言できるような学習集団作りに努める。
- ②学習活動の中で、小集団での話し合いの場を設定し、発言しやすい環境を作り、コミュニケーション力を育成する。
- ③ねらいを明確に示し、課題への興味関心を高めたり、適切な学習環境を整えたりして、主体的に学習に取り組める授業づくりに努める。

【達成状況】



- B
- ・ねらいの提示や振り返りが確実に行われ、学習内容が明確になった。
 - ・ペア→グループ→全体の話合いの仕方が共有化された。

【次年度の方針】

- ・発達段階に応じた宿題の出し方を工夫や家庭学習のしおりを活用した指導により家庭学習の習慣化を図る。

	A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる」⇒肯定的回答 90%以上（教職員）達成	①みんなの約束「学習編」の徹底を図り、基本的な学習態度の確立に努め、望ましい習慣を習得できるよう繰り返し丁寧に指導する。 ②発達段階に応じた「話し方」「聞き方」の指導や言語活動ができるようにする。	B 【達成状況】 ・みんなの約束「学習編」が教員・児童ともに共有化され、指導上有効であった。 【次年度の方針】 ・年度当初に、学校全体で学習指導に関する共通理解を図り、指導の徹底を図る。
本校の特色・課題等	B5 自ら進んで学習に取り組む態度が身に付き、基礎学力が向上している。 【数値指標】全体アンケート「児童は、朝の学習や家庭学習に毎日熱心に取り組む、基礎学力がついている」⇒肯定的回答 80%以上（保護者）未達成	①朝の学習として、漢字や計算の繰り返し学習を週1回ずつ実施する。 ②各学年の発達段階に応じて宿題の出し方を工夫したり、「家庭学習のしおり」を家庭に配布したりして、保護者の協力を得て、家庭学習の習慣化を図る。	C 【達成状況】 ・家庭学習への意識の向上が見られた。自主学習の奨励を継続してきた。 【次年度の方針】 ①朝の学習→A14に統合 ②家庭学習の習慣化→A14に統合
	B6 教職員は、ほめて伸ばす指導に努めている 【数値指標】全体アンケート「教員は児童のよさを見取り、ほめて伸ばす指導に努めている」⇒肯定的回答 80%以上（児童）達成	①短所を是正するのではなく、長所を伸展させるという視点に立ち、減点法ではなく加点法により、児童のよさや得意なことを見つけ、それをほめて伸ばす指導を行う。 ②「まごころカード」を活用し、児童のよさや頑張りを紹介するなどして積極的に称賛する。 ③学校生活における児童の頑張りや活躍を認め、賞賛する表彰制度を設けたり、ホームページや新各種便り等を利用したりして家庭や地域に知らせる。	B 【達成状況】 ・全教職員の共通理解のもと、ほめて伸ばす指導を行った。 【次年度の方針】 継続 「まごころカード」の取組をさらに奨励する。取組を学校便り等で紹介していく。
	B7 児童は地域や学校のために積極的に働いている。 【数値目標】全体アンケート「「クリーン活動や愛校の日の清掃活動をととして地域や学校のために一生懸命に働くことができた」⇒肯定的回答 80%以上（児童）達成	①校外の清掃活動として、なかよし通りや中央公園の「クリーン活動」を実施し、人のために働く喜びや地域への愛着を高める。 ②保護者ととともに、愛校の日の清掃活動を実施する。	B 【達成状況】 ・「クリーン作戦」の実践により、地域の方からお礼の手紙をいただくなど、人のために働く喜びを感じることができた。 【次年度の方針】 継続 「クリーン作戦」の分担場所を検討し、効率的に清掃が行えるようにする。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

1 教育全体の状況

- ・全体アンケートでは、指標を達成できた項目は22項目中19項目で、昨年度より多くの項目で達成している。昨年度と比較すると、教職員5項目、保護者1項目で5ポイント以上上回っている。
- ・市の小学校の肯定的回答率と比較すると、ほぼ同等の結果である。
- ・アンケート全体では、「学校全体に活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である」「教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている」「日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている」「学校公開や情報発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている」「校内は、学習にふさわしい環境になっている」は、教職員、保護者、地域ともに90%を超える肯定回答率で、昨年度同様、高い評価を得ている。学校は適正に学校運営をし、児童は楽しく学校生活を送っていると判断される。

2 学校運営の状況

- ・指標の目標達成については、良好な結果が得られている。未達成項目は、「教職員は分かりやすい授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている」（保護者）、「児童は、進んで運動する習慣を身に付けている」（児童）、「自ら進んで学習に取り組む態度を身に付け、基礎学力が向上している」（保護者）である。今後さらに学習指導に力を入れ、基礎学力の定着を図っていききたい。
- ・教育課程は適切に実施され、学校だよりや学年だより、ホームページ、教育連絡日や土曜授業などの授業公開等を通して保護者や地域への情報発信に努めている。「開かれた学校づくり」項目の保護者の肯定的回答は95.5%で昨年度より3ポイントほど向上している。ホームページの改良等により、より多くの情報発信の成果とも考えられる。
- ・「学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりの推進」の保護者の評価は90%を超え、学校外の組織との連携・協力、推進についての理解や周知が進んでいると考えられる。今後とも地域協議会等と連携を図り、新たな地域人材の募集等を行いながら、学習支援ボランティア等を活用した授業や地域の文化施設を積極的に活用した授業を計画的・継続的に実施していく。

3 教育活動の状況

①生活

- ・「児童は進んであいさつをしている」の教職員の肯定的評価は94.7%で児童が進んで挨拶をする習慣を身に付けつつあることが分かる。市の肯定的回答よりも8.8ポイント高い。保護者や地域の肯定回答率の向上を図っていききたい。
- ・「児童は正しい言葉づかいをしている」の教職員の評価は84.2%で昨年度より約3ポイント向上している。今後とも学校を挙げてのあいさつ運動の推進や時と場に応じた言葉づかいの指導を継続していく。
- ・登下校の安全な歩行に関しての児童の肯定的評価は92%である。保護者の評価は73.3%であるが昨年度より2ポイント向上している。今後も集団下校時の一斉指導や保護者・地域ボランティアによる立哨指導を継続し、安全に関する意識を向上させていく。
- ・いじめが許されない行為であることへの指導については、教職員・児童ともに98%程度の肯定率であるが、保護者の評価は68%と低い。学校全体で組織的によるいじめ対策の更なる実践と保護者への実践状況の報告等に努めていきたい。

②健康・体力

- ・進んで運動する習慣についての児童の肯定回答は87.5%で目標の90%には達しなかった。自由遊びの奨励や各種検定、ミニマムプランの達成、学年ごとのスポーツ大会、元気っ子チャレンジへの挑戦等を通して、目標を持って運動に取り組ませ、体力増強への意欲を高めていく。
- ・栄養のバランスを考えた食事については、給食週間やお弁当の日等を通して栄養バランスについての指導を行ったり、保護者会等で家庭の協力を要請したりして啓発を図る。

③学習

- ・「校内は学習にふさわしい環境となっている」「児童は落ち着いて学習に取り組んでいる」の教職員の評価はそれぞれ5ポイント以上向上しており、子どもたちが落ち着いて環境で学習に取り組んでいると判断できる。
- ・「児童は進んで学習に取り組んでいる」の教職員の肯定回答は94.7%である。小集団での話し合いの場の設定やねらいの明確化、振り返りの実施等で基礎的な学習内容の定着を図っている。今後さらに主体的に学習に取り組める授業づくりを推進する。
- ・「分かる授業やきめ細やかな指導と学力向上」については、保護者の評価は81.3%で指標に達しなかった。少人数指導やT.Tなど学習形態の工夫を行い、個に応じた指導を行う。
- ・読書活動の充実については、国語科の研究とも関連した並行読書の実践等もあり、児童や保護者の肯定的評価率が向上している。読書の時間や読み聞かせの充実により、読書に親しむ環境を整える。

本校の特色

- ・「教職員はほめて伸ばす指導に努めている」の児童の肯定的評価は 90.4%である。今後ともまごころカードの奨励や学級での賞賛の場の設定などを通して意図的に児童のよさを認め、自己有用感の高揚を図る。
- ・「学校や地域のために積極的に働いている」についての肯定率は児童 82.2%, 教職員 97.4%で、愛校の日に保護者とともに行う清掃活動や、なかよし通りや中央公園の落ち葉掃きなどの「クリーン作戦」を通し、人のために働くことの心地よさを味わうことができた。地域の方からお礼の手紙をいただき、感謝されることの喜びも味わえた。継続実施するとともに、活動について保護者に周知していきたい。

6 学校関係者評価

- ・平成 27 年度と 28 年度との教職員の評価比較において、A9「学習環境の整備」、AA 15「落ち着いた学習」、B2「交通ルールの順守・安全な登下校」の項目で大幅な向上が見られ素晴らしい。落ち着いた学習が行われていることがうかがえる。
- ・言葉づかいや挨拶については、保護者の姿勢が反映される。登校班での挨拶は、班長が元気な声で挨拶する班は下学年もよくできている。登下校指導等をしている人々への感謝の気持ちを込め、今後とも、挨拶の励行に努めてほしい。
- ・聞く態度や送迎時の挨拶など大人は子どもの手本となりたい。
- ・ホームページ等を利用して積極的に学校からの情報発信が行われている。ホームページ以外の方法でも情報の発信を工夫できるとさらによい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度は前年度と比較して、肯定的な回答の割合が向上した項目が多く、22 項目中 19 項目で指標を達成できた。
- ・次年度も学習環境を整え、分かりやすい授業の実施や一人一人へのきめ細かな指導を行い、基礎・基本の定着を図り、確かな学力を身に付けるようにする。
- ・今後とも児童のよさを認め、ほめて伸ばす指導の充実に努め、児童が自信を持って学校生活を送れるようにする。
- ・挨拶や言葉づかいなどの基本的な生活習慣の育成については、日常の場に応じた挨拶や言葉づかいができるようにする。さらに、宮の原地域学校園の指導方針に基づき、小中で一貫した取組を行うとともに、保護者や地域とも連携し活動の充実を図る。
- ・学校や地域のために働く等の活動の充実を図り、人の役に立つことの喜びを感じられるようにする。